

【釧路湿原自然再生事業】未利用地を湿原に戻す取り組み

湿原再生現地見学会

目的

釧路湿原外縁部の湿原再生事業箇所(幌呂地区)で、地域住民の方々とヨシ移植などを行い、湿原の自然再生に協働で取り組んでいくこと。また、湿原植生の回復状況を観察して、湿原らしい環境が戻りつつある現場を体験していただくこと。(例年7, 8月頃、参加者数20名程度)



ヨシの移植



ハンノキ環状剥皮体験



【拡大図】

実施場所
(幌呂地区)

釧路湿原

釧路市

参加者のこえ

「湿原の再生に手助けが出来た」

「ヨシを植えたことが自然再生につながった気がしてうれしい」 など

幌呂地区湿原再生事業

未利用地を



事業開始前

湿原復元へ



事業5年目

外来種が繁茂

【地盤切り下げイメージ】

ここを切り下げて
地表を地下水位に
近づけることで...

ヨシ等の湿原植生が回復

地表

地下

今後の取組予定

ハンノキを衰退させるハンノキ環状剥皮(巻き枯らし)の体験会などを通して、地域の皆様に釧路湿原の自然再生事業にもっと興味をお持ちいただき、美しい釧路湿原を次世代に受け継ぐために、今後も見学会を継続して取り組んでいく予定です。参加については、釧路湿原川レンジャー登録者へのご案内のほか、釧路開発建設部のホームページにて一般募集を例年行っております。

動画はこちらから



【主催】釧路湿原自然再生協議会 湿原再生小委員会 【事務局】釧路開発建設部治水課